

第45回沖縄県高等学校野球1年生大会開催要項

※新型コロナウイルス感染状況によっては、内容を変更することもあります。

1. 目的 1年生部員が実戦経験を積む中で、仲間と共にプレーする喜びと帰属意識ならびに技術力を高め、チーム作りの円滑化とその底辺拡大をねらいとする。
2. 期間 地区大会・・・令和2年秋季大会終了後～11月9日（月）
中央大会・・・令和2年11月14日（土）15日（日）21日（土）22日（日）
3. 主催 沖縄県高等学校野球連盟
4. 主管 沖縄県高等学校野球連盟技術部
5. 会場 地区大会・・・各地区評議員で協議し決定
中央大会・・・コザしんきんスタジアム、タピックスタジアム名護、
かりゆしホテルズボールパーク宜野座、沖縄セルラースタジアム那覇
6. 参加資格 (1) 令和2年度、沖縄県高等学校野球連盟に登録された1年生であること。
(2) 再入学の場合は、前学校において高野連主催の大会に出場した生徒は除く。
7. 参加人員 当該1年生登録部員であれば全員参加できるものとする。但し、ベンチ入りを20名までとし、試合ごとに入れ替えることができる。
8. 服装 地区大会においてはセカンドユニフォームでも可能とする。中央大会においては正式のユニフォームを着用し、背番号をつけること。
9. 参加申込 各地区評議員は予選大会終了後2チーム（但し、宮古・八重山は各1チーム）を選出し、高野連技術部部長に報告する。中央大会出場チームは抽選会当日までに選手資格証明書を4部提出すること。
10. 抽選 地区大会は各地区一任。
中央大会抽選会は11月10日（火）午後2時 北中城高等学校 セミナーハウス
11. 表彰 地区大会は行わない。中央大会の優勝チームは、賞状、優勝旗、優勝盾を授与し、準優勝チームには、賞状、準優勝盾を授与する。
12. 試合球 地区大会は各地区で準備する。中央大会は本連盟が準備する。
13. その他 ①試合方法について、予選大会は各地区で決定し、中央大会はトーナメントとする。
②コールドゲームについては、予選大会においては各地区で規定する。中央大会において、点差によるコールドは5回以降10点以上、7回以降7点以上の得点差が生じた場合とし、降雨、日没等によるコールドは5回終了、或いは先攻チームが5回を終わった得点より後攻チームの4回までの得点が多い場合とする。
③延長10回よりタイブレーク制度を適用する。（無死1、2塁、継続打順）

- ④決勝戦は、コールドゲームを適用しない。
- ⑤シートノックは後攻より7分間とする。
- ⑥試合中の負傷については各地区予選、中央大会とも当該部長で責任をもって行う。
- ⑦審判員は原則として正式審判員とするが、各地区予選については、当該理事が審判責任者と連絡し又はOB、2、3年生の部員で審判し、中央大会はすべて正式審判員とする。
- ⑧運営補助費については各地区責任者は下記の金額を事務局（与勝高校名渡山）より授受し運営費にあてる。運営費（宮古・八重山地区4万円・その他の地区10万円）
- ⑨中央大会選出チームは予選の参加チームに関係なく2チーム選出し宮古、八重山は各1校（今年は宮古地区代表が離島1位）、九州大会参加チームは推薦とする。九州大会参加校が辞退した場合は理事会で協議して決定する。
- ⑩中央大会の運営補助員は当該校の2年生部員が当たる。当該校の部長はお互いに調整し役割分担を確定すること。第1試合の準備は、第1試合の当該校で準備することとする。また、運営補助は試合開始から次の試合の開始準備までを担当する。
- ⑪地区大会においては、新型コロナウイルス感染防止対策を講じること。（名簿作成・検温・マスク着用・手洗い・アルコール消毒・密回避など）
- ⑫地区をまたがる連合チームの扱いについては、人数の多い学校の地区大会に参加する。同数の場合は、地区で話し合って参加地区を決定する。決定方法は地区に委ねる。地区の移動により、地区間の学校数のバランスが崩れても、連合チーム以外の移動は認めない。
- ⑬女子部員を参加させる場合は、地区で確認し、オブザーバーの試合に限る。ただし、危険を伴うので学校長と相談の上、出場範囲等を決める。公式大会には出場できない。（地区大会を含む・日本高野連回答）
- ⑭転入生の扱いは、他の公式大会の出場資格と同じとする。